

指定管理者評価委員会の評価結果（令和6年度）

令和6年9月27日

評価対象	施設名		中之島公園(リバー・ポートパーク美濃加茂)	
	設置目的・役割等		木曽川の自然を保全しつつ、人々が水辺や森など公園周辺の自然に親しむ場として、また、街を散策する際の拠点として、憩いと集いの空間を提供する施設。	
	施設の所在地		美濃加茂市御門町2丁目6番6号	
	規模等	敷地面積	29,476.56 m ²	担当課
		延床面積等	1,384.08 m ² (木造 2階建て)	土木課
	指定管理者名		中之島公園利活用共同体	
	指定期間		R5.4.1～R12.3.31 (公募・非公募(任意指定))	

評価委員 (敬称略)	名城大学 都市情報学部教授 赤木 博文 岐阜協立大学 経済学部准教授 藤井 えりの 旅人総研代表 田中 三文 コンサルティングシスト代表 伊藤 慎悟
---------------	---

指定管理者・担当課の報告要旨

【現在の運営状況(改善事項等)】

- ・来場者数は、2022年度から行動制限が緩和され来場者数が伸び、2022年度は180,435人、2023年が179,028人と推移している。開園6年目となり周知が広がっており、イベント開催数も増加している。今後は、ドッグランやキャンプ、冬場のサウナ等、コンテンツを増やして公園でできることの幅を広げていきたい。
- ・施設利用について、大・小ホールは稼働率が毎年増加傾向にあり、音楽発表会、ダンス、トレーニング、小規模マルシェイベントや写真展の開催など利用用途が広がっている。
- ・地域連携として、マルシェイベントを中心に川の体験教室、水辺で乾杯、ハロウィンイベント等を開催している。
- ・森の活用について、キャンプの実証実験を数回行い、昆虫の生き物講座を開催した。
- ・Instagramは、フォロワーが徐々に増加している。LINEについては、新機能を持ったLINEのアカウントに移行している。Googleについては、Googleマップの検索に今は力を入れている。Googleでの口コミ評価は、現在「4.3」という評価をいただいている。

【運営上の課題】

- ・貸館で大・小ホールを同時時間帯に別々の団体が利用する際に、壁がない分、音が筒抜けになり、お互いの声が響き合う不都合が生じる。
- ・BBQについては、今では名古屋圏内に競合他社が数多く進出しており、コロナ禍前の水準に戻っておらず、収益が下がっている。閑散期の冬場や夜のBBQを増やすことが課題である。
- ・指定管理期間が決まっているため、人を雇いづらく、常勤スタッフを採用するのに苦慮している。

【前回の評価委員会における指摘事項への指定管理者の対応】

- ・令和3年度実施の評価委員会における指摘事項について、指定管理者は下記のとおり取り組んでいる。

指摘事項①:公園管理について

- ・リバー・ポートパークの指定管理者には公園を管理しながら自主事業を行うことが求められているため、公園管理については更なる改善が必要である。

対応状況:公園管理で木曽川の水辺と森を守るために、ボランティアで参加者を募集し、木曽川クリーンアップ(川のゴミ拾い、清掃等)を継続している。森においては、昆虫採集イベントと併せて生き物の住処を

作る取り組みをしている。

指摘事項②：森の活用について

- ・森の活用が、リバーポートパークにとって非常に重要な位置付けになり、独自の森の価値を高める演出をどのように行うかが重要である。

対応状況：キャンプの実証実験を数回行い、生物多様性の学習講座を市民とともに開催している。

〈担当課からの報告〉

【改善事項】

- ・音楽イベント等の際は、指定管理者が独自に音量(dB)チェック等を実施し、近隣住民へ配慮している。
- ・スタッフの発案により、コンポスト事業を開始している。

【施設管理上の課題】

- ・令和5年度に駐車場において火災が発生し、消防が出動する事態となったため、管理不足であった。指定管理者には火気の取り扱いに注意し、今後警備を強化するよう指導している。

【前回の市に対する指摘事項への対応】

指摘事項①：公園管理について

- ・リバーポートパークの自然を守っていくことが非常に重要である。そのためには美濃加茂市が指定管理者の公園管理を適切にモニタリングする必要がある。公園管理が弱いのであれば、みのかも健康の森と連携するなどの方策を取り、美濃加茂市として木曽川の水と水辺の森を守っていくことを忘れないようにしてほしい。

対応状況：公園管理における健康の森との連携は現状では行っていない。ただし、リバーポートパークを通して、市民に川と森の魅力を感じてもらう取組み(生き物講座、川の安全講習会等)を実施している。

指摘事項②：指定管理者との連携について

- ・現在の指定管理者は非常に優秀な事業者であり、指定管理者と良好な関係を継続することができれば、市内の交流人口を増加させることができるため、指定管理者との関係を大切にすべきである。指定管理者のノウハウと実績を活かす方向で、市は指定管理者と連携を図ることが望ましい。また、次回、公募の際には、指定管理者が今よりも指定管理が行いやすいよう、業務内容や公募条件等を見直すべきではないか。

対応状況：指定管理者とのコミュニケーションの機会を増やし、指定管理者の意見や市民のニーズを参考に新たなイベントが生まれ、更なる賑わいが創出されている。指定管理者の意向を踏まえ、令和4年度の公募において、指定管理期間を5年間から7年間に変更しており、新たなチャレンジが行える環境を整えている。

指摘事項③：「ノウハウの蓄積について」

- ・市の職員は異動があるため、リバーポートパークで培われるノウハウが無くならないように注意しなければならない。リバーポートパークのノウハウをどこに蓄積するかが大きな課題であり、今後、公募型に変わる中で、ノウハウを蓄積する仕組みを作っていく必要がある。

対応状況：「美濃加茂市都市公園指定管理者による有料公園施設使用及び行為許可要領」を作成し、指定管理者が一定の基準に基づき行為許可の判断を行えるようにしている。賑わい創出に大きく寄与しているイベントでは、指定管理者とのコミュニケーションを図りつつも、指定管理者とイベントオーガナイザーとの良好な関係性を構築する為の運営協力及び制度設計を行い、市の関わりを極力少なくすることで、賑わい創出の自走を目指している。利用する市民が公園の使い方を日常化し、新しい使い方を習得してノウハウの蓄積をするために、リバーポートパークをフィールドとして自然の中で行う学びや体験など、価値観のアップデートに資する取り組みを今後も推進していく。

【総合評価】

・指定管理者としては非常に評価できる取組みをしており、「具体的な取組みを一部実施している」というよりは意欲的・積極的に実施している団体である。

・実際に指定管理者が行っている活動は素晴らしく、美濃加茂の顔ともいえる場所になっており、リバーポートパークの存在は、指定管理者だけでなく市にとっても非常に価値がある。事業も幅広く展開しており、利用者層も広がっているため、事業については何も問題はない。また、マーケティングや SNS 等の発信も適切に実施しており、Google の口コミに対しても素晴らしい対応をしている。

要改善・勧告事項

【指定管理者に対する要望・指摘】

①令和5年度の事業収支の粗利について

・粗利の減少は、事業者として重要なポイントである。特別な要因があれば問題ないが、コロナ禍でも1,000万円を超える粗利があったものが、30万円まで減少したのであれば、経営状況は今後厳しくなってくるため、内容を精査してほしい。

⇒※10月7日に担当課(土木課)より、指定管理者(中之島公園利活用共同体)が改めて収支状況を確認した結果、令和4年度と令和5年度の過去2年間の事業収支の粗利が誤っていたとの報告を受け、収支報告書およびモニタリング提出書類の差し替えを実施した。

②森の活用について

・リバーポートパークのキーポイントは木曽川である。木曽川の生態系を上手く使ったSDGsをキーワードにした研修の需要は潜在的にある。高校生、大学生、企業がSDGsをキーワードにリバーポートパークで学ぶなど、SDGsの学習に施設を利用してもらうのは平日の稼働率アップにつながる。SDGsに特化したパンフレットを作るもの一案。SDGsのニーズは確実にあり、「木曽川と森と食をキーワードにリバーポートパークでSDGsを学びませんか」という企画はプログラム化できると考えるので、是非検討してほしい。

【指定管理者及び市に対する要望・指摘】

①自主事業について

・これまでの収支状況から、自主事業を多く実施すると収益が少なくなることが推測される。事業者は収益を上げることが、事業を長く続けていくことにつながるため、指定管理者と市の双方が最適と考える方法を一緒に探っていくことが望ましい。

②新規事業について

・BBQなどは、5、6年経過すれば飽きられるのは当然であり、定期的に新たな投資をしていかないと生き残っていけない。ドッグランやキャンプ場などを新たに整備し、客層を広げ、新しいリバーポートパークの楽しみ方を提案することで、リピーターと新規マーケットの獲得につながる。市ができることと指定管理者ができることを整理していけば、BBQの落ち込みをカバーすることも可能かと考える。ドッグランは中途半端なものでなく、ここのドッグランが良いと思わせものを作ると客層は間違いなく広がる。施設の供用開始から6年以上が経過しているため、当初考えていたことと今の環境や周辺の競合施設の状況を勘案して、何か手を打たなければいけない時期を迎えている。

そ の 他 指 摘 事 項

【市に対する要望・指摘】

①指定期間について

・指定期間に期限があるため、長期雇用ができず人員確保に苦慮しているというのは大きな問題である。期限があるのは制度上仕方ないが、労働者の立場からも、より長期の期間指定できるようにすることが望ましい。

②評価方法について

・来園者数の目標が未達成のため、実施事業の項目が「C」評価となっているが、約 18 万人の目標に対して約 17 万 9 千人の来園者数で「C」評価はあり得ないのではないか。目標を達成しなければ「C」評価になるという基準が明確にあるのであればやむを得ないが、見直すことが望ましい。

●二次評価の判定基準

総合評価	基準
A(優 良)	施設の維持管理・運営を適正かつ効果的・効率的に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを積極的に実施している
B(良 好)	施設の維持管理・運営を適正に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを一部実施している
C(課題有)	施設の維持管理・運営を適正に行っているものの、一部課題があり、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る取り組みもあまり見られない
D(要改善)	施設の維持管理・運営に問題があり、早急な改善・勧告が必要である